

# 平成16年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	88		学校名	県立下館工業高等学校				課程	全日制			学校長名	名田 秀夫			
教頭名	高橋 貞一		事務長名	鈴木 和典			事務職	5			技術職	2		計	73	
教職員数	教諭	46	養護教諭	1	常勤講師	4	非常勤講師	4	実習指導員	11	事務職員	5	技術職員	2	計	73
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	機械科		80	0	76	3	75	2			231	5		6		
	電気科		39	1	32	0	39	0			110	1		3		
	電子科		73	8	56	4	76	3			205	15		6		
建設工学科		27	13	37	3	34	5			98	21		3			

## 2 目指す学校像

地域企業等との連携を確立し、地域社会から求められる技能・技術者を育成する工業高校。  
 1 自発的精神と工夫創造の能力を持つ人材の育成を推進する学校・・・ものづくり、起業家精神の育成と資格取得の推進  
 2 共同して活動する態度を身に付けた人材の育成を図る学校・・・部活動や各種工業技術コンテスト等へのチーム参加の推進  
 3 豊かな人間性を育み、奉仕の精神に富む人材を育てる学校・・・技能・技術を活かしたボランティア活動の推進

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現 状 分 析	課 題
学習指導	大学進学者を含め、数学等の普通教科・科目の基礎学力の不足を感じている。応用力や柔軟な思考力を高めるためにも座学に裏づけされた技能・技術の習得が必要である。	活発な部活動等による出張と授業時間の確保をどのようにバランスを取り、学力向上を図るか。
進路指導	過半数が進学希望であり、その半数は4年生大学である。就職を希望する生徒は、確実に就職しており、離職率は低い。	学んだ技能・技術を評価されての就職、指定校推薦に頼らない進学の体制を目指したい。
生徒指導	服装等の校則違反者は、全体的には少ないが、丁寧な取り組みが行われているにもかかわらず、改善されない状況が続いている。自転車・金銭の窃盗も繰り返されている。	全職員による指導の徹底と生徒の意識改革を図る方策を検討したい。
特別活動	運動部中心の部活動であり、1年生の入部者数は70%に達する。部活動顧問の熱意に支えられ、公立学校の中では、総合的に上位の成績を上げている。	特色ある学校づくりの観点から工業高校特有の活動等の活性化に取り組みたい。

## 4 中期的目標

1	進路指導を核とした学校運営を確立する。
2	生徒の基礎学力を伸ばすべし。
3	創意的工夫する態度を育成する。
4	自発的学習意欲の高揚を目指す。
5	部活動やボランティア活動と教科指導との連携を図る。

## 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	進路指導を核とした学校運営を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を通しての進路指導の方針・計画を明示する。</li> <li>・各学年における具体的目標と取り組みを設定し、実践する。</li> <li>・本校の将来に向けてのビジョンと進路指導の連携を確立する。</li> </ul>	
	工業高校としての特色の明確化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学者が過半数を占める専門高校としての実態に即し、進学者に対する学力の定着を図る取り組みを研究し実践する。</li> <li>・部活動及び工業高校ならではの技術・技能の深化に係る活動を推進する。</li> <li>・シユスター顕彰制度や進路実現に活かせる資格取得を推進する。</li> </ul>	
2年次	進路指導を核とした学校運営を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の個性伸長を図り、1年次から自己の適性発見の取り組みを取り入れる。</li> <li>・インターシユップの更なる充実を図るとともに、日本版デュアルシステムの活用について検討する。</li> <li>・客観的に基礎学力の定着を確認するため、校外模試等を活用する。</li> <li>・就職・進学希望者向けの課外指導等を展開し、第1希望の達成率を上げる。</li> </ul>	
	工業高校としての特色の明確化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種年間指導計画を公表し、学校評価の充実を図る。</li> <li>・授業等の公開方法を研究し、開かれた学校づくりの推進を図る。</li> <li>・ボランティア活動と教科との連携を検討し、特色づくりを推進する。</li> </ul>	
3年次	特色ある工業高校として、開かれた学校づくりに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を公開し、開かれた学校づくりを推進する。</li> <li>・資格取得状況、生徒の技能・技術の内容について公開する。</li> <li>・工業高校としての指導内容と成果を具体的に公開する。</li> </ul>	